

嘉麻市社協だより

えがぁ

発行日 2010.8.1

No.54

網を外に引っ張り
過ぎないのがコツ!!

～網戸の張替えを学ぶ研修会～



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

信頼を醸成し、さらなる飛躍に

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
会長 村上曙生



私は、7月1日に開催されました嘉麻市社会福祉協議会第32回理事会において、理事の皆様のご推挙とご賛同をいただき、引き続き会長に就任することとなりました。あらためて、責任の重さを痛感しているところです。振り返りますと、これまでの1期2年間は、合併のひずみとして残る旧市町地域への帰属意識を薄めて、一体感のある組織運営や地域活動

ができる住民の皆様との関係づくり、さらには、厳しい財政状況を踏まえた事業の効率化と経費の節減に取り組み、まだ道半ばではありませんが、一定の成果も見えてきたところです。

さて、本会が活動する地域

社会に目を転じてみると、少子高齢化、過疎化の進行とともに、これまで地域の中に自然に備わっていた住民同士の助け合いの関係やつながりは、ますます希薄化してきています。また、昨今の厳しい経済情勢の中で、低所得や失業等によつて、生活そのものが成り立たなくなつた方への生活安定に向けた取り組み、子育て支援や児童虐待への対応、金銭管理等を必要とする方への生活支援、災害発生等に備えた安否確認の態勢づくりなど、緊急かつ重要な課題が山積しています。このような状況の中で、地

域福祉の推進を掲げて活動する本会の役割はますます大きく、かつ重要であることから、行政事業の補完的役割を超えて、民間福祉団体としての柔軟かつ開拓的な取り組みが求められていると思うところです。

そのためには、住民の皆様の声に常に耳を傾けるとともに、必要とされる事柄を計画的に実行に移していく努力こそが必要で、そのことによつて、皆様との信頼関係が築かれ、また、本会がめざす、住民参加による福祉のまちづくりにつながっていくと確信しています。

このような思いを胸に、全力で職務を遂行して参る所存ですので、皆様の温かいご指導とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新理事・監事紹介

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	村上曙生	理事	宇野孝道	理事	坂口 繁
副会長	竹島寿男	理事	古川 勤	監事	松岡 秀和
副会長	篠崎博保	理事	坂口陸海	監事	大野 正三
理事	大山博之	理事	今永輝明	任期	平成22年7月1日から 平成24年6月30日
理事	越岡加代子	理事	福田一彦		<敬称略・順不同>

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

いつまでも楽しく元気でありますように… 短冊に願いを込めて

色とりどりの短冊には「健康で米寿を迎えられますように」「孫が健やかに成長しますように」「宝くじが当たりますように」など、それぞれの願い事が書いてありました。7月6日(火)、上臼井サロ

ンでは、七夕の飾りつけが行われていました。

「毎日楽しく過ごせますように」と短冊に願いをしたための参加者の一人は、年に6回開催されるサロンで仲間とわいわいおしゃべりをしながら過ごすことを楽しみにしています。「ずっと家に閉じこもっているんじゃなくて、みんなと楽しむことができる場所があるんだから、今の年寄りには幸せよ。」と微笑みます。

この方の若さの秘訣は、地域の行事に積極的に参加して、人との係りを持つことだそうです。サロン以外にもデイサービスや旅行などを楽しんでいます。

このサロンの代表である福田一彦さんは、「たくさんの方にもっと気軽に参加してもらって、みんなで楽しい時間を過ごしてほしい」と参加を呼びかけています。しかし、行政区の面積が広く、サロンが行われる集会所まで距離のある方は参加しづらいこと、また、開設から8年が経ち、病気などで参加できなくなる人が増えてきたことによって、少しずつ参加者が減ってきているものの、毎回参加されている皆さんは、サロンでの仲間との時間を楽しみにされています。

次回は、10月15日(金)午前11時から上臼井下集会所にて開催される予定です。参加者が短冊にしたための願いと同じように「毎日楽しく過ごしたい」と思われている方は、ぜひ一度参加されませんか。



立派な七夕飾りができました



公開講座 開催

虐待から子どもを守るために～地域のネットワークづくりに向けて～

テレビや新聞で、児童への虐待報道があっていますが、みなさんはどのように感じられていますか。児童虐待防止法によると、児童虐待とは、身体に危害を加える『身体的虐待』、食事を与えない、病院に連れて行かないなど養育を放棄する『ネグレクト』、性的行為を強要する『性的虐待』、言葉や態度で心を傷つける『心理的虐待』の4つに分類されます。どの行為も、子どもの心身を傷つけ、健やかな成長や発達を損なうことになります。

そのような児童虐待を防止するためには、早期発見、早期対応、再発防止が重要であり、関係機関のみならず、地域住民のネットワークが大切だと考えられています。

そこで、下記により、研修会を開催しますので、興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。子どもの尊い命を守るために、私たちにできることは何なのかを考えていきたいと思ひます。

日時 平成22年9月13日(月) 午後1時30分から午後3時30分

会場 なつき文化ホール

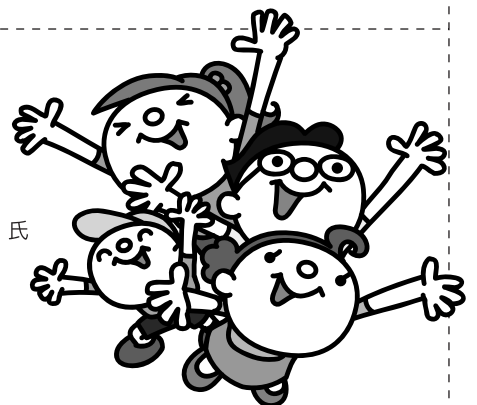
内容 「虐待から子どもを守る地域ネットワークとは」

講師 西南学院大学人間科学部社会福祉学科 准教授 安部 計彦 氏

参加費 無料

申し込み締め切り 平成22年9月6日(月)

申し込み先 嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751



子どもの遊び心や自発性を大切にしたい

幼児期の外遊びは一生の宝物



福岡プレーパークの会

代表 古賀彩子 さん

現在の子どもの遊びは、テレビやゲーム等の室内遊びといった個人遊びが中心となり、外に出て人や自然に触れて遊ぶ体験をする機会が減っていると言われていいます。また、その背景には、外で自由に遊べる空間が失われていることが考えられます。

このような状況の中、福岡プレーパークの会は、子どもが自ら遊びを作るプレーパーク(冒険遊び場)を紹介、普及することを通して、子どもが自由に遊べる環境づくりを支援しています。また、この活動を中心に関係者がつながり、生き活きとした地域社会を作っていくことを目標としています。

そこで、今回のVOICEでは、9月17日に開催する子育て支援講座の直前企画として、同会代表の古賀彩子さんに『子どもの遊び』に対する思いを伺いました。

●現在の子どもの遊びについて、どう思われますか？

地域の安全が揺らいでいる中、子どもたちの『遊び』を取り巻く環境は、時代とともにどんどん豊かさを失っています。今の子どもたちは外で遊ばず、家の中でゲーム等をしていくことが多く、仲間と遊ぶ、自然と触れ合う、工夫して遊ぶということが苦手です。しかし、これは、子どものせいではありません。子どもの遊びの要求は昔と変わらないものの、それが満たされる環境が乏しいのです。

●現在取り組まれている活動とは？

子どもが自由に遊べる環境づくりをテーマに、プレーパーク活動に取り組んでいます。プレーパークとは、子どもたちが工夫して遊びを作り出すことができる遊び場のことで、『自分の責任で自由に遊ぶ』遊び場です。なるべく禁止事項をなくして、子どもたちがのびのびと遊べるように、大人は見守り、支え、一緒に遊びます。そこでは、火を使ったり、地面に穴を掘ったり、木に登ったり、何か物を作ったりといろいろな遊びが生まれていくので、『変化する遊び場』とも言えます。『遊ばせてあげる』のではなく、『子ども達が本当にやりたいことをやりたいよ

うに遊べる場』、それがプレーパークです。

また、指導者としてではなく、子どもとともに遊び、心のふれあいを生み出せるような『プレーワーカー』の養成講座を実施しています。核家族の多い子どもたちは、集団で遊びを生み出すことに慣れていないため、ガキ大将のように子どもと同じ目線で遊びを導いていく大人、それがプレーワーカーです。言い換えると、『子どもが自ら遊んでみたいという気持ちにさせる人』のことです。

●プレーパークには、危険が伴うこともありますか？

『土、水、木、火』を使った遊びには、危険なこともあります。ですが、子どもたちが、自分の責任で自由に遊ぶことを大切にしています。できないことに直面すれば、自分の限界を感じ、危険を回避できた時には、自信が生まれます。また、プレーワーカーや周りの大

人たちは、ゆるやかに子どもを見守りながら、子どもが手に負えないことに直面したときには、助けられるようにと配慮しています。

●遊ぶは、子どもたちにどんな効果をもたらしますか？

子どもたちは、主体的に遊ぶ中で、多様な体験を積み、創造性を養います。遊びは生きるための原動力として欠かせないものではないでしょうか。子ども時代に、自分達が面白いと感じることを思いっきりやってみるという体験をすることは、子どもの心と体に栄養を与えてくれるに違いありません。だから、子どもが感じる遊びに対する心を大切にしたいです。遊びで培われた好奇心や冒険心は、その子の成長にきつと役に立つと思います。

■■■■ 子育て支援講座開催のお知らせ ■■■■

古賀彩子さんを講師にお迎えし、下記のとおり子育て支援講座を開催いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

日時 / 平成22年9月17日(金) 午前10時～12時
場所 / 稲築地区公民館
内容 / 子どもの育ちに必要な外遊びとは
講師 / 福岡プレーパークの会代表 古賀彩子さん
参加費 / 無料
締切 / 9月10日(金)
その他 / 託児を利用できます。希望される方は、申し込み時にお子さんの年齢を伝えてください。

申込・問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751

■プロフィール

古賀彩子さん
福岡プレーパークの会代表。
1962年生まれ。福岡市出身。
1983年に財団法人プレースクール協会にて子どもの遊び場活動に携わる。プレースクール協会在職中、プレーワーカーとして様々な企画に参画する。3人の子育てを経験する中で、子どもたちを取り巻く環境が成長過程においてとても重要であると実感し、2004年福岡プレーパークの会を立ち上げる。
現在、県内を中心に地域での遊び場づくりの支援等を行っている。

子育て支援事業紹介

嘉麻市社会福祉協議会では、地域社会全体で子育てを支援していくため、以下のような事業を実施していますので、ご利用ください。

▶▶▶ 子育てリユースセンター

不用になった子育て用品を自由に持ち込み、また必要とする方が自由に持ち帰ることができます。衣服、ベビー用品、おもちゃ、学生服などを取り扱っています。

開設日時 平日午前8時30分～午後5時
(土日祝を除く)

開設場所・
問い合わせ先 碓井千歳会館
Tel 0948-62-3538

▶▶▶ おしゃべりサロン

子育て中の方や子どもたち、また託児ボランティアの方が月に1回集まって、子育ての悩みを話したり、いろんな情報交換をする場です。また、親子で参加できる遊びや物作りなども行っています。

開催日時 毎月第2水曜日
(※8月は18日に開催)
午前10時30分～12時

場所 碓井千歳会館

問い合わせ先 嘉麻市社会福祉協議会
Tel 0948-42-0751

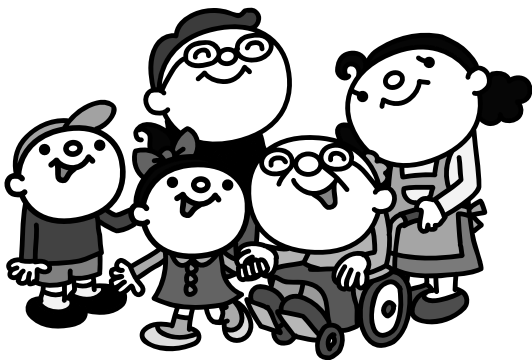
ボランティア・市民活動の充実のために

かまボランティア・市民活動センターには、『個人ボランティア部会』、『ボランティア・市民活動グループ部会』、『社会福祉施設部会』、『教育部会』という4つの部会があります。

この部会は、活動している方や受け入れる施設の方が、情報を交換したり、交流することを目的に設置しているものです。

6月26日～28日にかけて、個人ボランティア部会、ボランティア・市民活動グループ部会、社会福祉施設部会を開催しました。個人ボランティア部会では、ボランティア募集の情報が早めにわかると予定がたてやすいといった意見が、グループ部会では、活動希望者にグループへの参加を呼びかけてほしいという要望がありました。また、社会福祉施設部会では、ボランティアを受け入れる時の対応について話し合いました。各部会で出された意見については、センター運営委員会に持ち上げ、ボランティア・市民活動の充実につなげていきたいと思っています。

また、部会に参加するためには、センターへの登録が必要で、随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



ボランティア募集情報

秋まつりのお手伝い

知的障がい者更生施設
清浄学園

活動日時 9月18日(土)午後5時～午後8時30分

活動内容 秋祭りの手伝い
(主にゲーム広場を担当)

募集人数 10名(高校生以上)

募集締切 8月31日(火)



障がい児の活動補助

障害者支援施設 つばさ学園
児童デイサービス

活動日時 7月21日(水)～8月31日(火)午前10時～午後3時

活動内容 障がい児の活動補助

募集人数 若干名(18歳以上)

備考 活動を希望される方は、活動日の3日前までにご連絡下さい。

法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会、評議員会を開催しました。

第32回理事会

- 《開催日》平成22年7月1日(木)
 【議案第76号】会長及び副会長の互選について
 【議案第77号】副会長及び理事の職務代理の順位について
 【議案第78号】規程の改正について
 【議案第79号】不動産譲渡の申し入れについて

第20回評議員会

- 《開催日》平成22年6月24日(木)
 【議案第36号】任期満了に伴う理事及び監事の選任について

ふれあい千歳新聞

第3回碓井千歳会館フリーマーケット出店者募集

碓井千歳会館では、今年で3回目となるフリーマーケットを開催します。そこで下記により出店者を募集しますので、ぜひご出店ください。なお、定数(13店)になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。

- 日時 平成22年10月17日(日) 午前10時から午後2時
- 会場 碓井千歳会館駐車場(雨天の場合は館内で実施します。)
- 募集店数 13店(先着順) ■出店料 500円
- 申込方法 出店申込書と誓約書は碓井千歳会館と山田ふれあいハウスに用意していますので、必要事項を記入しいずれかの施設にお申込み下さい。
- 申込期間 8月2日(月)から9月3日(金) 午前8時30分から午後5時まで(但し土日は除く)

- 出店できる方……18歳以上の方(高校生は除く)但し、営利目的の出店は認めません。
- 出品できる物……家庭で栽培した野菜や花の苗、サークルで作った陶芸・手芸作品及び不用品
- 出品できない物……飲食品類(たばこ、酒類を含む)、薬品類、生き物(動物、昆虫類)、違法コピー商品、金券類、危険物(石油、ガス、模造刀、モデルガン、ナイフ、包丁等)、社会通念上不適当と思われるもの及び法律上販売できないもの。

お問い合わせ先 碓井千歳会館 下臼井1050番地19 ☎0948-62-3538
 山田ふれあいハウス 上山田502番地6 ☎0948-52-1847

嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

いすや会館

嘉麻市牛隈1822 ☎(0948)57-4444

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



- 24時間、承ります。
- 真心こめて、お手伝いさせていただきます。

〔案内図〕



知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 no.39



今回ご回答頂くのは…
いすや会館
馬場輝樹さん

Q 香典袋にお金を入れ忘れてしまいました。どうすればよいでしょうか。

A 香典を入れ忘れるのは、意外とよくあるようです。後で気づいたときには恥ずかしくても、できるだけ早く申し出て下さい。お通夜から帰宅して気がつけば告別式の際に渡し、告別式の後であれば、改めて挨拶に伺って渡すようにしましょう。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に8カ所あります。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| セレモニーホールおおつか…☎52-1212 | 飛鳥会館 南斎場…☎42-4241 |
| かほ葬祭 あじさい会館…☎62-5566 | きど葬祭やまさ碓井斎場…☎62-4499 |
| 善光会館 稲築会場…☎83-5000 | ひさつね会館…☎52-0758 |
| おかむら葬祭岡村会館…☎42-4420 | |

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



6月16日～7月15日受付分

寄附・香典返し

【熊ヶ畑第二】

【鴨生第二】

親族 渡辺 純子様
故 渡辺 勝憲様

親族 廣瀬 須代子様
故 廣瀬 絹枝様

親族 粉井 政利様
故 粉井 ウメノ様

北九州市 大久保 友様

【古切手】
山野第二 古賀 絹江 様

【漆生老松】

親族 西原 義人様
故 西原 房子様

親族 鎌田 辰子様
故 鎌田 秀康様

親族 江藤 学 様
故 江藤 さつ子様

下白井東 匿名 様
百々谷 吉元 悦子様
石ヶ崎 渡邊 美千代様

尾浦第一 石川 弘子様
嘉穂才田 大屋 由美 様

【山野第二】

親族 福澤 清隆様
故 福澤 佐世子様

親族 中村 佳代様
故 濱田 伴香様

親族 友清 幹雄様
故 友清 フサエ様

嘉穂才田 大屋 由美 様
匿名 様

牛隈北区 野坂 美江子様
(株)トモス

【石ヶ崎】

親族 山本 ミツエ 様
故 山本 友勝様

親族 山中 悦子様
故 山中 二雄様

親族 平下 春三 様
故 平嶋 フミヲ 様

山野第二 古賀 絹江 様
山野第二 中原 日枝 様

松岡病院 嘉麻市子ども育成課 様
嘉麻市人権・同和対策課 様

【長野】

親族 永水 房子様
故 永水 義明様

親族 斎藤 賀世様
故 斎藤 和彦様

嘉穂の名水愛好者一同 様

鴨生北町 矢野 きさ子様
石ヶ崎 國武 美千代様

下山田小学校PTA 様

【中央】

親族 長瀬 トモエ 様
故 長瀬 才信様

親族 大塚 雅子様
故 大塚 勝 様

【子育てリユース】
山野第二 西村 優起 様

熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様
熊ヶ畑第二 樋口 想 様

松岡病院 様
匿名 様

【中山田上】

親族 河津 マスミ 様
故 河津 義徳様

親族 粉井 鈴子様
故 粉井 強 様

鴨生第一 柳迫 里美 様
鴨生北町 葛原 メイ子様

石ヶ崎 渡邊 美千代様
嘉穂才田 大屋 由美 様

下午隈 匿名 様
匿名 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)
6月16日～7月15日受付分

【個人会員】

〈鴨生北町〉縄田正利

〈漆生本村〉高嶋節生

〈漆生東〉若松福美、小川征司、

小川美世子、日隈恵子、清藤シ

ズ子、広瀬フミ子、下坂マサ子、

小野ノブエ(二口)、田籠スミ子、

吉永ツタ子

〈平第一〉山下峯生、山下照輝、

山下信子、中島裕二、山下かず

み、山下さなえ、山下武利、大和

義一、西田四郎、永水巳代志、永

水泰典、田口正志、西田剛、森山

肇、大山松雄、松本澄子、西田明、

白土良一、坂本浩之、佐藤秀男、

浅田修一、松本政喜、平井幸子、

永水秀樹、加藤正子、松隈慶造、

藤内俊夫、佐原ノリ、佐伯純子、

加来公生、吉田文子、平井むつ

子、西田健、永水政子、野村京子、

越智初、佐竹吉實、森山祥弘、深

見隆伸、馬田忠義、松本明美、山

下孝一、高田久志、野田エミ子、

西田仁、西田恒義、大山忠男、松

下正良、梶原輝雄、永水計親、永

水博、小林英治、白土恵一、眞杉

八十雄、西田久利、西田武次、西

田家理、永水民生、永水美法、永

水雅史、永水幸子、永水正博、西

田マサヨ、篠森鹿夫、荒巻嘉子、

西田正子、永水成一、野見山輝

昭、西田俊夫、藤崎正昭、西田穫

次、小峠フサエ、岡村葬祭、中野

君子、林トシ子、横山秀雄、清家

幸夫、大久保久子、本田京子、宇

根岡マスミ、林繁樹、田中道子

〈口春〉永易敬行、篠寿年江

〈新山野〉藤川輝男、山田富美枝

〈枝坂〉後藤ナヲ子

〈上白井下〉宮内節(二口)

〈飯田〉高原綾子

〈平山〉末次昭枝

〈大橋〉熊本クニミ、森田保、溝

口良章、溝口悦子、原治子、川原

太郎、乾繁夫、藤田キミ子、明石

正、福沢信江、浅野隆雄、金光弘

子、吉岡正男、阿部ヤチヨ、手塚

田ハマ、松岡保、深町健一郎、小

島齒科、武田幸子

〈蛭子〉大田建設

〈三菱第一〉石井留吉、長松良一、

朝倉富藏、上村二三男、首藤安

夫、梶嶋エツ子、江藤利美、高橋

政雄、壺坂慶典、原キク子、廣崎

静子、山田はるみ、石井秀美、三

宅康子、大河内マサ子

〈三菱第二〉梶原カズエ、東伊牟

田昇、東伊牟田アサ子、大河内

正子、永嶋陽、市川皓子、松尾真

由美

〈神幸〉村上フクエ、池田カズ子、

伊藤金造、粕井百合子、井上大

典、井上政子、植上礼子、松岡サ

ト子、松岡一豊、松岡美知子、村

上曙生、渡辺利子、大塚ハナエ、

小山英昭、西岡愛子、樋口毅、松

岡敦子、松岡俊吉、渡辺純一、日

高スミエ、松岡宏明、塚本眞弓、

日高秋憲、長与泰三

〈本町〉松岡寛文

〈百々谷〉橋本利根

〈木城〉水之江文子、田辺スミエ

〈筑紫〉山下貞子

悟志、伊藤千輝、大里弘子、大塚

由美子、金崎秀敏、金崎泰、平嶋

洋和、廣瀬澄子、廣瀬ヤスエ、荒

木美千代

〈熊ヶ畑第二〉谷口美佐子、大里

悠治

〈中山田下〉前田幸利

〈尾浦第一〉大里スエ子

〈昭和〉隈元シゲ子、明石ミサヲ、

大久保猛彦、大塚軍治、矢野ヒ

トミ、下田勢四郎、下田伸三郎、

竹森笑美子

〈上牛隈〉小林一志、小林強子、

手島教恵、大里祥二、大里洋子

〈下牛隈〉堀之内周平、熊本正夫

〈三日町〉杉本隆、杉本洋子

〈西馬見〉円入俊之

〈千手〉藤本奈緒美

【法人会員】

〈大橋〉大塚精肉店

【団体会員】

〈漆生本村〉漆生本村行政区(十

三口)

9月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

法律相談

と き: 9月2日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 9月16日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 9月8日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 9月22日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

ふるさとには、いつも

誰かの笑顔がある

私にとってふるさとは心がやすらげる大切な場所です。



福岡市在住
大栗 久美さん(28歳)
千手出身

私の実家は旧嘉穂町の山の麓にあります。小さな町で育ちました。私は他のふるさとを知りません。それでも私はこのふるさとが一番だと思っています。緑の山々に囲まれ、澄んだ空、綺麗な空気、優しく吹く風、私はそのすべてが大好きです。一時は遠く離れた場所に住んでいたこともあり、隣人の顔も名前も知らない街、それが寂しかった。外を歩けば、知り合いかいらない小さな町で育った私を「田舎者」と言う人もいました。でも、私にとってその言葉は誇らしかった。田舎には田舎にしかないあたたかさや優しさがたくさんあることを私は知っていたからです。

そんな私でも、もう少し若い時期は都会への憧れをもったこともあります。ブラウン管越しに見る都会の映像はとても魅力的なものだったからです。オシャレな洋服、外国のような素敵な街並み、スクランブル交差点に、早々と行き交う人々。「かっこいいな」と思ったこともあります。だから、都会での生活も楽しかったのは事実です。

現在は福岡県内に住んでいます。実家から一時間ほどの町で、今年産まれた子供と夫と三人で生活しています。実家に帰る度にベビーカーに息子を乗せて散歩するのですが、近所のおばあちゃんやおじさんが話しかけてくれます。息子をあやしてくれるだけでなく、「大きくなったらね」「もう、お母さんなんだね」と私の話をしてくれるのです。

この町は私にとって大きな家です。町の人は大切な家族です。ほっとできる場所。笑顔になれる場所。ふるさとは優しい気持ちにさせてくれます。

子どもを産んだ今、子育てをしながら強く思うことがあります。「私の子どもにもこんな素晴らしいふるさとを持たせてあげたい」と。それが母親になった私の大きな仕事だと思っています。

市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



■会費の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。まずは、嘉麻市社会福祉協議会(TEL 0948-42-0751)までご連絡ください。

これは枝坂にあった三井山野病院の写真です。この病院には外科、内科、眼科、歯科、小児科、産婦人科のほか、伝染病棟の設備もありました。

今から45年前に起きた三井山野炭鉱ガス爆発事故の際には、たくさんの負傷者が運び込まれ、ホールはいっぱいになり、その治療は同病院の医師だけでは追いつかず、県内の大学病院等の医師が数多く応援に駆けつけたそうです。

安藤ミドリさんはご主人が同病院の事務長をしていたことから患者さんの処置などを手伝ったそうで、そのときの院内の凄まじい状況ははっきり覚えており、地域の婦人会や近所の方が被災された方の家族を気遣って炊き出しをしたり、子守りをしている姿も同時に思い出すことがあると言います。

このように炭鉱労働者の健康保持、そして地域医療に大きな役割を果たしてきた三井山野病院は、昭和48年の三井山野炭鉱閉山とともに、その歴史に幕を下ろしました。

現在、その場所には住宅が建ち並び、そこに病院があったことを知る人も少なくなっています。

